

## 令和8年度 第1回 大阪市立北津守小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立北津守小学校

校園長名 石倉 雅之

日時	令和8年5月18日(月) 18:00~18:45	
場所	北津守小学校 校長室	
出席者	委員など	中野 満夫(委員 学校協議会委員長) 川村 善明(委員 北津守小学校 PTA 会長) 杉浦 雅美(委員 北津守保育所長) 稲田 智英(委員 鶴見橋中学校長)
	校園	石倉 雅之(校長) 田村 恭彦(教頭) 田村 忠章(人権教育主担) 鴨 佑真(教務主任)
	区役所	藤田 浩一(西成区役所地域支援担当課長代理)
議題	(1) 令和8(2026)年度「運営に関する計画」について (2) その他 ・西成区の子育て・教育事業について ・保育所 中学校の課題	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	(1)	○「運営に関する計画」について  多様な背景をもつ児童が数多く在籍する中で、すべての子どもの人権を大切にし、自尊感情や自己肯定感を高め、お互いに学び合う学習を展開しながら学力の向上を図っている。  話し合い活動に取り組む中で、学習だけではなく、地域とのつながりや、異文化についても学び伝え合うこととお互いのルーツについて尊重し合えるような環境を作る。  ポジティブ行動支援の実践を学校全体で

		<p>取り組むことで、クラスの目標やルール・マナーについて前向きな話し合いを行いながらよりよい集団へと導いていく。</p>
	<p>○「運営に関する計画」について ・安全・安心の教育の推進</p>	<p>児童の豊かな感性と人権を大切にして行動できる態度を養うために、多様な体験活動や人権学習、地域とのふれあい活動を行う。体験活動では、教育委員会と連携し、探究読解プロジェクトを進めている。</p> <p>多文化共生教育を推進するために、「民族学級」「中国学級」「多文化共生学級」の活動を行う。また、活動内容を発表することで、全児童が世界のいろいろな国や文化について知り、お互いのルーツを尊重できるような環境を作る。関係諸機関と連携して、帰国・来日等の児童や外国にルーツのある児童が学校生活を円滑に送れるよう、日本語指導を行う。</p> <p>いじめや不登校、問題行動に関する情報を全教職員間で適切に把握し、対応できるようにする。</p> <p>道徳の授業において、価値理解や人間理解、他者理解を深めながら自己理解につなげ学習意欲を向上させる。</p> <p>年間計画に基づきながら、避難訓練や防災・交通安全教育を実施することで、緊急時に対応できる能力の基礎を養い、自主的に行動できるようにする。</p>
	<p>・未来を切り拓く学力・体力の向上</p>	<p>学力向上のため話し合い活動を中心に授業展開している。また、ぐんぐんタイムを設定し、1・2年生は算数科の基礎学力の定着、3～6年生はマイクロステップ・スタディをすることで語彙力の向上を図る。</p> <p>朝のモジュール学習で、外国語（英語）の歌や映像に触れる機会を通して、外国語（英語）への関心・意欲の向上に努める。</p> <p>また4・5・6年生で、「英検ジュニア」英</p>

			<p>語能力調査を実施し、子どもの実態に応じた指導に生かす。</p> <p>新体力テストや体育科学習から実態把握に努め、基礎体力を養うために児童の課題に沿った、年3回以上の運動週間を設定し、体力の向上を図っていく。5月は「ドッジボール週間」を実施した。</p> <p>今年度は道徳について研究を進めていく。</p>
	<p>・ 学びを支える教育環境の充実</p>		<p>デジタル教科書の活用や、学習者用端末を使い、視覚的に捉えることで学習意欲の向上を図る。授業やモジュールタイムにデジタル教材を活用した自学自習を取りこむことで、ICT利用の習慣化を図る。また、校内研修会を行い、端末活用方法について教員が学ぶことで、授業だけではなく家庭学習での使用も増やしていく。</p> <p>働き方改革に関しては、第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を87%以上にする。セット時刻の徹底や会議の精選、振替取得などハード面の抜本的な改革を継続して行っていく。</p>
(2)	<p>その他</p> <p>・ 鶴見橋中学校、北津守保育所の取り組みについて</p>		<p>・ 中学校でのタブレット端末を使用した学習の取り組みと効果について。</p> <p>・ 子どもの様子について</p> <p>・ 外国ルーツの子どもへの対応について</p>
協議資料	<p>○令和8年度「運営に関する計画」</p> <p>○「大阪市教育振興基本計画 令和8年度（2026年度）～令和11年度（2029年度）」の概要</p> <p>○北津守小学校グランドデザイン</p> <p>○マイクロステップ・スタディ（タブレットドリル学習について）</p>		
備考	<p>傍聴者【 0人 】</p>		